

日本のために 国際機関で 尽くしたい

高校生になった頃の私は、夏休みに国際機関を訪問できるなんて夢にも思っていませんでした。今回、この研修で、減多に入ることができ、更に国際機関で働くことができ、更には国際機関で働く日本人から直接お話を伺うという、またとない素敵な機会をいただけたことを嬉しく思います。

私が国際機関で働く日本人の方々から学んだことは二つあります。

一つ目は、興味のあることは追求すべきだということです。私は、高校生になり、勉強が難しくなるにつれ、興味を持ったことを深く追求することに時間をかけて良いのか不安でした。そのことを国際機関の方々に相談したところ、興味のあることについて、時間を見つけて、追求した方が良く私の背中を押してくれました。

二つ目は、留学をした方が

良いということです。国際機関の方々の多くは、留学された経験があり、留学することで英語が上達するだけでなく、異文化に興味を持つことができたり、他の言語に興味を持つことができたりという方もいました。私自身、お話を伺って、留学への興味が更に深まりました。

また、今回、ウィーンやジュネーブを観光して、特にウィーンでは音楽に多くふれ

ることができ、ジュネーブでは現地の夏祭りを楽しむことができました。ウィーンでの音楽鑑賞ではオーケストラの素晴らしい演奏だけでなく、構成や演出にも魅了されました。そのような時間を作ってくれた方々に感謝したいと思います。

最後に、今回、この研修会で素敵な14人の仲間と出会い、共に学び、楽しみ、夏休みの印象深い素敵な思い出を作ることができたことを大変喜ばしく思います。今回の経験は、将来、私の人生においての財産になると思います。国際機関で働く日本人が少ないことを知り、驚くと共に、将来、国際機関などで働き、日本のために尽くしたいと思いました。

Reporter



藤島高校 1年
わにぶち まりこ
鱈渕 麻梨子

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



IAEAにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

エネルギーとこと

異常気象の多発などから気候変動問題への危機感が高まっています。昨年末にCOP21^{*}(パリ)で示したCO2削減目標(2030年度までに2013年度比△26%)を着実に達成することが、国際社会に対する日本の重要な責務です。

福井県経済団体連合会 会長 **川田 建男**

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回は**9月10日(土)**掲載予定

視察研修会に参加した高校生が学んだこと・体験したことをシリーズで紹介していきます。